

2019年9月4日

## CBI 気候変動債認証 取得サービス開始のお知らせ



株式会社日本格付研究所（JCR）は、2019年8月28日付にて、Climate Bonds Initiative（“CBI”）の理事会決議により、同イニシアティブが実施する気候変動債の認証（Certification）を請け負う Approved Verifier（認定検証機関）として承認されました。これにより、お客様がグリーンボンド又はグリーンローンに対して、CBIの認証を受けたい場合には、弊社までご依頼いただきますと、CBIの認定検証機関として、CBIの認証手続きを実施することが可能となりましたので、お知らせいたします。

JCRでは、サステナブル・ファイナンスの浸透による持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、これまで提供してまいりましたグリーン・ソーシャル・サステナビリティ・ファイナンス評価（格付・スコアリング）に加え、グリーンファイナンスについては、CBIの Certification を取得するための検証（Verification）レポート提供を通じ、ご発行体様のサステナビリティのお取組みを国内外のマーケットに情報発信するサポートをしていきたいと考えています。CBIの気候変動債とは、グリーンボンド又はグリーンローン等のうち、パリ協定で定めた温暖化防止のための二度目標達成に資する債券で、CBIの基準を満たすものをいいます。

### CBIの概要

- Climate Bonds Initiative（CBI）は2010年12月に設立された低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NPO。CBIは、ロンドンに拠点を置いている。投資家に向けた情報提供に焦点を当てたNPOである。同イニシアティブは、低炭素・気候耐久経済への急速かつグローバルな移行に資金を供給するために、債券市場を動員することに努めている。同イニシアティブの活動は、グリーンボンドの定義の策定及び認証制度等があり、これらを策定するための理事会メンバーには22兆ドルを有する投資家が含まれている。そのほか、国連事務総長の気候サミットのグリーンボンドのワークストリームのサポート、中国政府国務院と協力して、中国でのグリーンボンドの促進方法の検討も行っている。直近では、EUタクソノミー策定において、同イニシアティブのスタッフが技術作業部会メンバーとして多大な貢献をしている。
- CBIは主に以下3つの活動を行っている。
  - (1) マーケットインテリジェンス  
グリーンボンド市場に関する定期レポート、グリーンボンドデータベース作成等
  - (2) 信頼される気候変動債のタクソノミーと基準の開発（CBI認証）
  - (3) 政策モデル、助言の提供

- 投資家や政府が低炭素投資を行う際のスクリーニングツールとして気候変動債基準（Climate Bond Standard（CBS））が参照されることが多い。同基準及びCBIが作成するグリーンボンドのデータベースは、欧州にとどまらず、世界中で活用されている。
- 気候変動債認証スキームは、債券等にラベルを付けるスキームのこと。認証に際しては、パリ協定で定められた二度目標と統合的な科学的根拠に基づいた基準を用いている。本スキームは、グローバルに債券の発行体、政府、投資家及び金融市場が、気候変動に貢献することを優先づけるために用いられている。

【CBI 代表者】

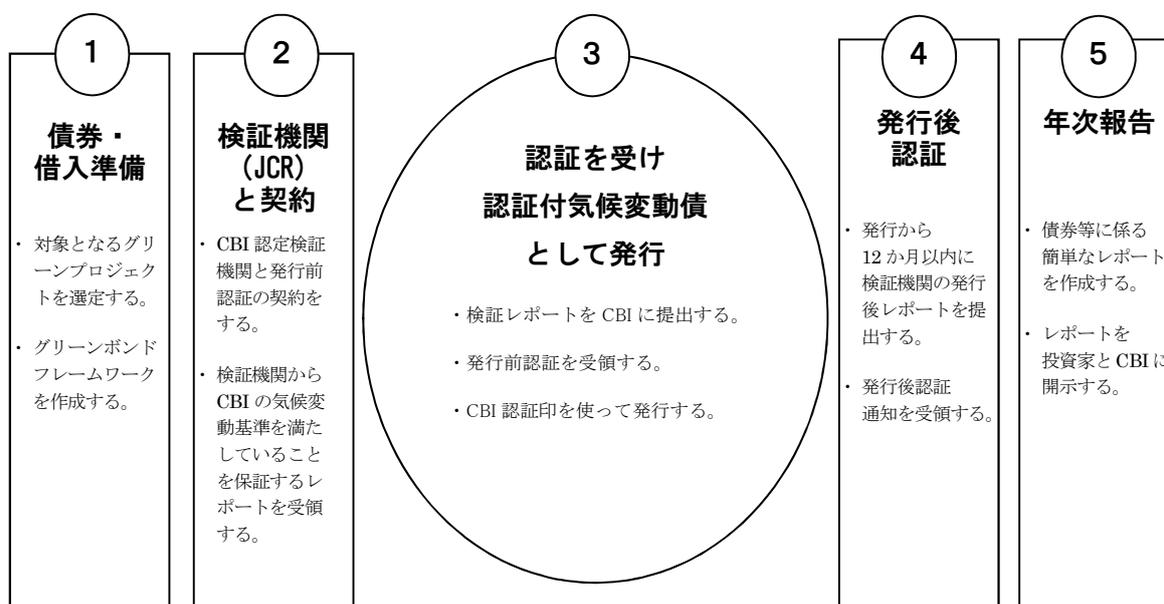
Mr. Sean Kidney

【CBI 出資者】

Confederation Suisse, Bloomberg Philanthropies, National Australian Bank, The Rockefeller Foundation, Bank of America, HSBC, Foreign & Commonwealth Office, Frederick Mulder Foundation, Gordon and Betty Moore Foundation, Inter-American Development Bank, Oak Foundation, FSD Africa, European Climate Foundation, The Sainsbury Family Charitable Trusts, EU’s Horizon 2020, ClimateWorks Foundation, UNDP GEF, Martin International, Climate-KIC, KR Foundation

気候変動債としての認証を受ける場合、以下の手順で行います。

Climate Bonds Certification（気候変動債認証プロセス）



我が国では、グリーンファイナンスを含むサステナブル・ファイナンスによる資金調達が増加傾向にあります。このような状況下、より高い専門性とグローバルな視点との整合性を持った質の高い第三者評価の提供が果たす役割は大きなものがあると考え、JCRでは、今般CBI認定検証機関となることと致しました。CBIのApproved VerifierとしてのCertification業務遂行に当たっては、イー・アンド・イーソリューションズの専門家を弊社のチームメンバーとして同時登録し、環境分野について高度な専門性を必要とする分野においては、同社専門家と積極的に連携を図ることで、質の高い検証業務を提供します。

JCRは、信用格付会社として長年培ってきた金融市場における経験にとどまらず、サステナブル・ファイナンスについて、新たな取り組みと専門性の蓄積を継続的に実施しております。

昨年度は環境コンサルティング会社のイー・アンド・イー ソリューションズ及びノルウェーの第三者評価機関であり、CBIの認定検証機関でもあるDNV GL社など、国内外の環境分野に係る専門企業と業務提携を行い、質の高いサステナブル・ファイナンス評価に努めてまいりました。また、ICMAのソーシャルボンド作業部会、国連環境計画 金融イニシアティブによるポジティブインパクトファイナンス作業部会にも参画し、海外における原則や分析ツールの開発に貢献しています。今般 JCR が CBI 認定検証機関として認められた背景には、このような専門家集団との業務提携によって JCR がサステナブル・ファイナンス評価に対する知見を蓄積してきたこと、昨年度及び今年度上半期において、サステナブル・ファイナンス評価分野の取扱件数でトップクラスのシェアを維持していること等が評価されたものと思われま

す。おりしも、EUでは、グリーンボンドに係る詳細な適格基準（タクソノミー）案が策定され、数年後には第三者評価機関の登録制度が導入されることが予定されております。登録と共に導入が見込まれる規制の中では、環境分野（気候変動、気候緩和）を中心とする持続可能な開発分野に関して第三者機関が具備すべき専門性、独立性について規制が厳しくなることが予想されます。CBIは、グリーンボンドに係る第三者検証機関の専門性や独立性について、欧米の大手 ESG 投資家や環境専門家からなる理事会で厳格な承認審査を行う、世界でも他に例のないグローバルな専門家集団によるイニシアティブです。JCRは、規制導入に先立って、グリーンファイナンス分野の権威ともいべき CBI から認定検証機関としての承認を得てサービスを提供していくことで、我が国のグリーンファイナンス市場とグローバルなグリーンファイナンス市場の架け橋となることを願っています。CBIの認証を受けられるお客様においては、世界共通のグリーンボンドの基準を満たすこととなりますので、国内外の投資家に対して幅広く信頼を得るきっかけとなることを期待されます。

本サービスについて、ご関心がおありの方は、下記連絡先までご照会ください。

サステナブル・ファイナンス評価部

梶原 敦子 (kajiwara@jcra.com)  
梶原 康佑 (kosuke.kajiwara@jcra.com)

RM 事業部

萩原 一真 (kazumasa.hagihara@jcra.com)



株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル